

## 旧本庁舎の解体工事進行中

新本庁舎は5月から全面供用を開始し、7月からは旧本庁舎解体工事が開始しました。昭和44年の建設以来親しんできた庁舎には数々の思い出があり、解体が進むにつれて、寂しさも隠せません。

解体工事は約1年間。その後、(仮称)市民協働ゾーンが建設され、令和5年8月に完成予定です。

尚、現在ご希望の団体等には、新庁舎見学会の対応をしています。議会が開催されていない時期は、議場見学の可能性もあります。お問合せ、お申込み等は、庁舎管理課または私、ごとう孝江まで。



永年市民に親しまれた越谷市役所旧本庁舎



屋上の時計も取り壊され、解体工事進む。7階より10月3日現在。

## 新大沢地区 センター・公民館開所

9月1日、大沢地区センター・公民館が市内9番目の大型館として、大沢から東大沢の旧保健センターに移転しました。

オープンに先駆けて8月28日に竣工式典が挙行されました。コロナ禍という状況により、主に地域の代表の方々を中心に、小規模な式典になりましたが、お祝いの気持ちは伝わったことと存じます。

本施設は越谷市初の公共施設をリノベーションした施設で、市内外からも注目されています。地域の方々のコミュニティ・生涯学習・福祉や防災救援等々、地区まちづくり活動に積極的に活用していただきたいと思っています。



新大沢地区センター・公民館  
(旧保健センター)

越谷市議会議員 越谷市宮本町1-66-4 越谷ニューライフ205号

# ごとう孝江

活動報告 2021年秋 ● 第75号

めぐもりある越谷を  
つくります！



所属委員会等

- \*総務常任委員会委員長
- \*都市計画審議会委員
- \*越谷・松伏水道企業団議会議員

秋季爽やかな季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の発生以来、一年半以上経過し、ワクチン接種も進んできている現在も未だ収束の見通しがつきません。変異株もデルタ株、ミュー株、ラムダ株などと進化し、コロナ禍は長期化を覚悟しなくてはならないのでは、と感じています。

さて、先の6月定例会において、高橋市長から11月10日の任期満了を以て、勇退なさる旨の表明をされましたので、今定例会が高橋市長に対する私の最後の一般質問になりました。

私と高橋市長は、私が市議会議員一期生の2年半、同じ会派の先輩議員として、多くのご指導をいただき、以来今日に至るまでの年月を思い起こしますと、非常に感慨深い思いです。これまでの高橋市長の数々の実績とご労苦に敬意と感謝の思いを込めて質問いたしました。(3ページ参照)

これから季節性インフルエンザの流行期を迎えます。昨年のこの時期同様、感染予防対策を継続して、コロナ禍を乗り切っていきましょう。

私は、引き続き「ウィズコロナ」「アフターコロナ」への対応など、市民の皆さまに寄り添ったまちづくりに邁進してまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

皆さまのご健康を心よりお祈りいたします。

## 越谷市議会災害時 対応訓練実施

去る9月27日、昨年は新型コロナ感染拡大のため中止された「市議会災害時対応訓練」が実施されました。しかし、コロナ禍という現状に鑑み、残念ながら今年はグループウェアを活用した、安否確認のみになりました。来年は参集や訓練実施などが可能になるようにと思います。

※市議会では6月から情報提供などを中心にグ

ループウェアを活用しています。これまでの紙ベース、FAX対応からペーパーレス化、デジタル化に向けて少しずつですが進んできました。また、議会運営委員会において、パソコン等グループウェア使用基準を協議中です。



新しくなった市議会防災服

市議会議員  
ごとう孝江

連絡先

### ●自宅

〒343-0806 越谷市宮本町1-66-4 越谷ニューライフ205号  
TEL・FAX 048-966-5088

### ●越ヶ谷連絡所

〒343-0813 越谷市越ヶ谷3-3-26  
TEL・FAX 048-964-3243



ホームページのアドレスは  
<http://takae510.jp>

# 議会報告

## 9月定例会議

令和3年9月定例会は9月1日に開会し、市長提出議案30件、議員提出議案1件が上程され、すべて認定、可決して9月29日に閉会しました。

### 主な議案

#### ○越谷市立学校設置条例の一部改正について

蒲生小学校と蒲生第二小学校の合併により、新たな越谷市立蒲生小学校を設置することに伴い、名称及び位置を定める。令和4年4月1日から施行。

名称：越谷市立蒲生小学校

位置：越谷市蒲生旭町1番75号

※附則において、越谷市学童保育室設置及び管理条例の一部改正

内容：蒲生学童保育室及び蒲生第二学童保育室も同様に改正を行う。

※新校名については、蒲生小学校と蒲生第二小学校の児童・保護者・教職員を対象にアンケート調査を実施。その結果をもとに蒲生小・蒲生第二小合併地域準備会で検討され、結果「越谷市立蒲生小学校」が選定された。



#### ○財産の取得について（自動水栓）

①取得財産 自動水栓本体 785個  
付属品 L型ジョイント 627個  
自在水栓 158個

②取得価格 1,920万599円  
※新型コロナウイルス感染予防のため、全小中学校対象。主にトイレ、廊下の手洗い所、保健室など。手洗い所に最低1か所設置。設置率は約24%見込み。

#### ○令和3年9月補正予算（第5号）

補正予算額	一般会計	98億8,000万円
	特別会計	27億9,777万1,000円
補正後予算総額		2,002億2,277万1,000円

【骨子】主に歳入では前年度繰越金の整理など、歳出では新型コロナウイルス感染症経費の追加や財政調整基金・公共施設等整備基金への積立金の追加など。

#### ○令和3年9月補正予算（第6号）

補正予算額	一般会計	1億9,800万円
補正後予算総額		2,004億2,077万1,000円

【骨子】歳入では新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金等の追加。歳出では交付金を活用した事業等の追加と財政調整基金の減額。

【補正予算の事業】

- ①入院待機者への在宅酸素投与 3,900万円  
自宅療養者の重篤化を防ぐため、入院先の調整の間、在宅での応急的な措置として酸素投与を行う体制を整備。
- ②稲作農業経営者支援金 4,790万円  
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度米価の大幅な下落が予想されるため。（申請期間：11月上旬から令和4年1月上旬予定）
- ③中小企業者等影響緩和支援金 1億1,290万円  
対象：令和3年4月～9月の期間で国の月次支援金給付を受けた市内事業者  
支給内容：（1事業者あたり）法人30万円、個人15万円  
（申請期間：10月下旬～令和3年12月28日予定）
- ④小中学校児童・生徒の感染防止対策 1,220万円  
感染性防止対策として、すべての児童・生徒の机に設置する飛沫防止用パーテーションを購入。

#### ○令和2年度決算概要

	歳入	歳出
一般会計	1,608億 1,751万円	1,541億 8,671万円
特別会計	597億 5,230万円	569億 6,847万円

※新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2年度の越谷市の財政運営が懸念されましたが、越谷市の財政状況を示す、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）4項目すべての指標及び資金不足比率は国の基準を下回り、前年度に続き健全財政を維持しています。

# ごとう孝江の一般質問

## 令和3年9月定例会

9月7日（一般質問初日）、私、ごとう孝江は高橋市長に対する最後の一般質問に登壇し、3項目について見解を質しました。

### I. 高橋市政の継承と進展について

**問** 6月定例会で自治体行政は継続であり、市政の進展に取り組んできたと言われたが、その市政の継承と進展の考えとは。

**答** 平成21年10月市長初当選以来3期12年にわたり、第6代目越谷市長として職責を果たしてきた。この間「安心度埼玉No.1の越谷」「市民が誇れる越谷」「いきいき活性化する越谷」を基本理念とし、その実現に向けて様々な施策を展開してきた。現在、新型コロナウイルス感染症により未曾有の事態に直面し、懸命に取り組んでいるが、一日も早く日常を取り戻すことが重要である。

市長在任中は山積する行政課題解決のため、常に市民視線に立ち、全力で取り組んできた。

今年4月からスタートした第5次越谷市総合振興計画を基本として、さらに越谷市の発展のために継続して取り組んでいくことを切に期待している。

### II. コロナ禍における財政運営について

**問** 令和2年度のコロナ禍の決算が出されたが、令和4年度の予算編成は、より経営的視点が重要視される。また、財政の激変とコロナ後の社会へ向かう変革期を乗り切るための、行財政経営のPDCAサイクルに対するガバナンス機能発揮の見解は。

**答** 真に必要な行政サービス推進のためには、財源の確保が大きな課題である。従来の事務事業の見直しを含め、選択と集中による効率的、効果的な行財政運営をより一層進めるとともに、国県支出金をはじめ依存財源の積極的な獲得に努める。また、新たな行政需要やポストコロナ社会に対応できるよう、中長期的な視点を持ち、持続可能な財政運営に努めていく。

### III. ウィズコロナ・アフターコロナを見据えたパンデミック時の対応について

**問** パンデミック時の対応は、国や県の方針によるものが大きいですが、保健所設置中核市としてふさわしい行動計画等への見解は。

**答** 新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束が見えないが、今般のコロナ禍の経験を生かし、感染状況な

どに応じた人員体制確保の手段や、本市独自の対策などを検証し、実効性のあるものとなるよう、本市の「新型インフルエンザ等対策行動計画」の見直しを進める。

**問** 新型コロナと季節性インフルエンザのツインデミック対策は。

**答** 希望する方がそれぞれのワクチンを接種できるよう、医師会と協議をしており、医療体制の確保に努めていく。

